

気仙沼市持続可能な社会推進市民会議(サステナ市民会議) 第2回分科会オンライン聴講者を募集します

- 本市では、将来にわたり持続可能な地域社会を実現するため、本年8月20日、「気仙沼市持続可能な社会推進市民会議(サステナ市民会議)」を立ち上げました。
- サステナ市民会議では、市民107名の参画のもと、「自然との共生」、「地域経済・くらし(循環型社会・循環経済)」、「人間の安全保障(誰一人取り残されない社会)」の3つの大きなテーマに分かれ、各セクターでこれまで積み上げてきた活動を振り返りながら、未来志向による課題解決のアイデアを出し合い、取るべき行動・起こすべき活動を示し、その実現の展開につなげていくことを目指しています。
- 10月7日(土)に開催するサステナ市民会議第2回分科会では、本市の民俗・文化に精通する民俗学者であり、東北大学災害科学国際研究所シニア研究員として、また、福島県新地町の漁師としてご活躍されている川島秀一さんを講師に迎え、「海と生きる作法ー漁業における人為と自然」をテーマとする講話を行います。
- また、本会議の「地域経済・くらし分科会」アドバイザーであり、大学院大学至善館教授の枝廣淳子氏からも「サーキュラー・エコノミー」について講話をいただいた後、分科会委員によるワークショップを行うこととしております。
- 今回、この2つの講話については、分科会委員以外の方にもご聴講をいただきたく、オンライン配信をいたしますので、下記のとおり聴講者を募集します。

【サステナ市民会議第2回分科会】

- 1 日時 令和5年10月7日(土) 午後1時30分から午後4時30分まで
- 2 内容
 - (1) 開会 (13:30)
 - (2) 講話① (13:35~14:05) 「海と生きる作法ー漁業における人為と自然」
・講師 民俗学者 川島 秀一 氏 (気仙沼市出身)
 - (3) 講話② (14:05~14:35) 「サーキュラー・エコノミーについて」
・講師 大学院大学至善館教授, 有限会社イーズ代表 枝廣 淳子 氏
 - (4) 第1回分科会振り返り・ワークショップの進め方の説明 (14:35~14:50)
 - (5) ワークショップ (15:00~16:30)
テーマ 20年後の気仙沼を描こう!
 - (6) 閉会 (16:30)

3 オンライン聴講申込方法

次のいずれかにより 10月6日（金）正午まで申し込みください。

(1) 右記の Google フォームから簡単に申し込みできます。



(2) メール・ファックス・電話の場合は、所属団体・氏名・メールアドレスを明記のうえ下記あてに申し込みできます。

4 申込先

気仙沼市震災復興・企画部 震災復興・企画課

TEL:0226-22-6600（内線 313・314） / FAX:0226-24-8605/E-MAIL:kikaku@kesenuma.miyagi.jp

【参考：サステナ市民会議構成図】



1 自然との共生分科会 テーマ「持続可能性」

森は海の恋人、スローフード・スローシティに象徴される「森・海・空の循環」や「自然との共生」を大切にすることをシティブランドとして発展させること など

2 地域経済・くらし分科会 テーマ「持続可能性」

身近な日常生活や事業活動におけるカーボンニュートラルや地域経済循環の推進 など

3 人間の安全保障分科会 テーマ「誰一人取り残されない」

多様性を認め、社会的弱者等、一人一人の人権が尊重される社会を実現すること など